



協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 392号

12



今月のトピックス

平成30年秋の褒章（一社）石川県建設業協会関係受章者の紹介

最近の完成工事から

能登歴史公園（国分寺地区）について

～能登歴史公園センター・のと里山里海ミュージアムオープン～

石川県土木部公園緑地課



石川の工芸シリーズ 石川県庁蔵
大樋釉 飾壺「勝ち犬」<大樋陶治斎（十代 長左衛門・年朗）【昭和2（1927）年・】>

制作年 / 平成17（2005）年 サイズ / 高さ37.0cm × 幅32.8cm × 奥行34.2cm 技法 / 彩釉
大樋陶治斎は九代長左衛門の長男として生まれ、大樋焼の継承者として陶芸の世界で数多くの作品を世に送り出した。平成11（1999）年に日本芸術院の会員となり、平成23（2011）年には文化勲章を受章した。千支の戌をモチーフにした作品は、天然に産出される赤土を用い、手びねりで仕上げ金彩を施した一品。「勝ち犬」は作者自身の造語である。第37回日展常務理事出品作。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2018
12



石川の工芸シリーズ
おおひ ゆうがざりつば か いぬ
大樋釉飾壺「勝ち犬」
大樋陶治斎(十代 長左衛門・年朗)
(おおひとうやさい(じゅうだいらいさゑもん・としろう))

1	今月のトピックス	
	平成30年秋の褒章 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介	1
2	最近の完成工事から	
	能登歴史公園(国分寺地区)について ~能登歴史公園センター・のと里山里海ミュージアムオープン~	
	石川県土木部公園緑地課	2
3	平成30年度「優良建設功労者」、「優良建設工事」知事表彰の紹介	4
4	雇用改善コーナー	
	金沢市立工業高校生との意見交換会の開催	6
	金沢市立工業高等学校のインターンシップ感想文	6
5	県内建設企業の財務内容の特徴	
	~『建設業の財務統計指標平成29年度決算分析』より~	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	9
6	地区協会コーナー	
	かほく四季まつり・かにカニ合戦 ~住み良さランキング2018、全国17位のかほく市~	
	河北郡市土建協同組合	10
7	会員リレーコーナー	
	100 株式会社津幡工業	11
8	今月の「輝き!」さん No.45	
	株式会社丸中組 中市隆幸さん	12
9	協会だより	
	平成30年度市町要望活動の実施	13
	女性技術者のつどいの開催	14
	委員会の開催	14
	土木委員会	
	工事現地検討会の実施	14
	石川県土木部との意見交換会の開催	15
	建築委員会	
	環境・住宅部会研修会の開催	15
	加賀地区安全パトロールの開催	16
	土地改良委員会	
	北陸農政局及び県農林水産部等への施策提案	16
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	17
	「建設業経営講習会」の開催	17
	ドローン講習会の開催	18
	建設青年委員会	
	講演会の開催	19
	建設技術研修所	
	「登録解体工事講習会 能登会場」の開催	19
10	石川県土木施工管理技士会だより	
	現場研修会の開催	19
11	業界時報	
	労働災害発生状況	20
	平成30年度 建設工事受注高調(元請)	20
12	会員消息	21
13	県協会からのお知らせ	21
14	地区協会からのお知らせ	22

◆ 今月のトピックス ◆

平成30年秋の褒章 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介

平成30年秋の褒章で、(一社)石川県建設業協会関係では、前理事の澤田 勉氏が受章されましたので紹介します。

1 褒章の種別

黄綬褒章

2 受章者

(一社)石川県建設業協会 前理事

沢田工業株式会社 相談役 澤田 勉氏

3 受章の概要

11月14日(水)国土交通省10階共用大会議室において石井 啓一国土交通大臣から褒章の伝達を受けた後、夫人と共に皇居宮殿に参内し天皇陛下の拝謁を受け、お言葉を賜りました。

4 功績の内容

澤田 勉氏は、長年にわたり建設業に携わり、県建設業協会の役員として業界の振興発展に貢献されました。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・・・・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

最近の完成工事から

能登歴史公園（国分寺地区）について ～ 能登歴史公園センター・のと里山里海ミュージアムオープン～

石川県土木部公園緑地課

1 はじめに

能登歴史公園は、中能登町の「石動山地区」と七尾市の「国分寺地区」からなる、能登地域では唯一の県営公園です。国分寺地区では、昨年7月から公園の管理運営の拠点となる県の「能登歴史公園センター」と、能登地域の自然や歴史・文化を紹介する七尾市の「のと里山里海ミュージアム」の一体的な整備を行い、本年10月28日にオープンしました。



図 - 1 能登歴史公園(国分寺地区)位置図



図 - 2 能登歴史公園(国分寺地区)平面図

2 能登歴史公園（国分寺地区）について

本地区は、能越自動車道と国道159号七尾バイパスの結節点に位置する恵まれた立地条件を活かし、隣接する国史跡「能登国分寺跡」をはじめ、本地域に散在する歴史的遺産を保全・活用した広域的な交流拠点・情報発信拠点として、また、多様なレクリエーションや防災の拠点となる広域型の施設として整備し、地域の活性化を支援することを目的としています。

芝生広場では、地域の祭りの開催や各種レクリエーション、グラウンドゴルフなどのスポーツの場としての利用に加え、今後は公園センターとミュージアムを活かした、より多様な利活用が可能になります。

< 概要 >

所在地：七尾市国分町地内

都市計画決定面積：国分寺地区18.7ha（能登歴史公園全体60.0ha）

開設面積：6.4ha

主な施設：公園センター、ミュージアム、芝生広場、駐車場など



写真 - 1 ミュージアム



写真 - 2 芝生広場



写真 - 3 園地利用（地域の祭り）

3 能登歴史公園センター、のと里山里海ミュージアムについて

公園センターと、世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」の豊かな自然、歴史、文化を“見て、ふれて、楽しんで学べる”をコンセプトに整備されたミュージアムが、それぞれが持つ機能を共有し、連携することで、管理運営や利活用などの面で相乗効果を発揮するよう、両施設を合築して整備しました。

公園センター（木造棟）の建物外観は、能登国分寺跡の復元施設「南門」をイメージしています。また、RC造棟のミュージアムとの対比により、各々の外観の特徴が強調されています。



図-3 施設平面図

<概要>

建築面積：1,815.35㎡（延床面積1,487.98㎡）

構造：木造・RC造 平屋建て

主な施設：レクリエーションルーム・休憩室兼学習室
ミュージアム・カフェ



写真-4 能登歴史公園センター（手前 木造棟）
のと里山里海ミュージアム（奥 RC棟）

エントランスホールでは、能登地域12市町の工芸品や特産物のほか、祭りや自然景観の写真パネルの展示を行う「百景棚」を設置するなど、能登の魅力や観光情報を紹介し、ミュージアムと一体となって、訪れる方々に能登の歴史や里山里海の魅力について理解を深めていただけます。

レクリエーションルームでは、能登の歴史・文化にちなんだ様々な体験教室や講習会を実施するほか、遠足での休憩など多目的な利活用を図ることとしています。



写真-5 エントランスホール（百景棚）



写真-6 レクリエーションルーム、休憩室兼学習室
（左：イベント使用時、右：通常時）

4 おわりに

今年、能登立国1300年という大きな節目の年です。能登の玄関口に位置し、交通の結節点という恵まれた立地を活かし、能登の自然、歴史、文化を発信する新たな観光交流拠点として、本公園が能登に多くの方を呼び込む役割を担うことが期待されます。

今後は、両施設が連携しながら、ミュージアム職員などによる、のと里山里海講座や体験教室など各種イベントの開催を予定しています。この機会にぜひお越しください。

平成30年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰の紹介

11月14日(水)午前10時から、石川県庁において「平成30年度国土と交通等に関する知事表彰」が行われ、建設関係者から多くの個人・団体・企業が表彰されました。(一社)石川県建設業協会関係の優良建設功労者及び優良建設工事をここにご紹介し、その功労に敬意を表します。

【優良建設功労者】



二俣 馨 氏
株式会社新出組
専務取締役



林 登良夫 氏
株式会社林組
代表取締役社長



佐藤重二 氏
株式会社佐藤組
代表取締役会長

【優良建設工事】

【土木部発注分(会社名及び工事名)】

- 1 真柄建設株式会社
金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事(浅野川橋梁 山側P7橋脚工)
- 2 株式会社ピーエス三菱
主要地方道 宇出津町野線 地方道改築6類工事(小間生橋上部工)
- 3 西村建設株式会社
主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事(改良工)
- 4 株式会社松建
都市計画道路金沢小松線 街路整備(防災・安全)工事(東三番工区)(水路工)
- 5 吉光・中島特定建設工事共同企業体
主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築工事(手取川橋梁 P1橋脚工)
- 6 日本海建設株式会社
金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事(浅野川橋梁 海側P7橋脚工)

- 7 小倉建設株式会社
 笹尾通常砂防工事（本堰堤工）
- 8 能登建設株式会社
 飯田港 改修（統合補助）工事（さん橋補修工）
- 9 高藤建設工業株式会社
 都市計画道路粟津街なか線街路整備工事（防災・安全）（改良工その4）
- 10 北川・日成ビルド特定建設工事共同企業体
 石川県立中央病院建設工事（車いす使用者用駐車場）

【農林水産部発注分（会社及び工事名）】

- 1 株式会社新井組
 平成29年度 県営かんがい排水事業 北星地区 4-6号支線 水路工事
- 2 南建設株式会社
 平成28年度 県営ほ場整備事業（農業法人育成型）相神地区 取水施設工事
- 3 本建設工業株式会社
 平成28年度 農業用河川工作物応急対策事業 滓上地区 頭首工工事

平成30年 ～交通マナーアップいしかわ～

年末の交通安全県民運動

期間 12月11日(火)～12月20日(木)

運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止（北陸三県統一重点）
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転の根絶
- ◆ 冬道の安全走行の徹底
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

雪道での安全安心な運転のために

早めの冬用タイヤの交換
 スピードは控えめに
 急のつく行為
 急発進 急ブレーキ 急ハンドル
 を避ける

時間にゆとりを持って、
 車間距離を十分に
 とりましょう



雇用改善コーナー

金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

(一社)金沢建設業協会(会長 橋本和雄)は11月16日(金)に金沢市立工業高等学校を訪問し、同校建築科2年生との意見交換会を開催した。

意見交換会は、建設業界全体で今後も技術者不足が続く中、若い世代に建設業の魅力を伝え、人材確保につなげる目的で金沢協会の青年委員会が主体となり、今年で4年目の開催となった。会には青年委員会の他、金沢協会役員、県協会役員などが出席した。



意見交換会の冒頭、梅谷青年委員長が挨拶で、建設産業の役割・魅力について述べるとともに、地元の会員企業への入職を呼び掛けた。

続いて、同校の平成26年度の卒業生で株式会社長坂組の浦 史朗氏が「仕事について」と題し、自身が携わった現場や建設現場での仕事内容について生徒に説明した。

その後、生徒は5つのグループに分かれ、青年委員会情報発信セクションのメンバーとグループごとに意見交換を行った。生徒からは、「休日数・残業について」、「産休・育休は取れるのか」など多くの質問がだされ、青年委員会のメンバーが丁寧に回答した。

最後に、青年委員会情報発信セクションの長坂サブリーダーが挨拶し閉会となった。

金沢市立工業高等学校のインターンシップ感想文

仕事をする喜びを味わうことができました。

建築科2年 原 湧大
(受入企業 兼六建設(株))

この五日間の就業体験で様々な経験をさせていただきました。

現場でレベルの据え付けや墨出しを五日間行いました。足元が砂利で不安定だったため、初日はとても時間がかかってしまいました。しかし、日を重ねるごとに据え付けが速くなり、数値を読み取る作業も速く正確にできるようになり、効率を上げることができました。その時に速くなったと監督さんに褒められ、仕事をする喜びを味わうことができました。また現場を周る中で、外壁の仕上げには吸込み止め、下塗り、中塗り、上塗りの四回を行って色を安定させるということや、動かすことのできる足場のローリングタワー、通路を確保するための安全通路などといった実際の現場に行かないと知ることのできないようなものを見ることができ、とても勉強になりました。

様々な年代の方々とコミュニケーションをとり、兼六建設をはじめとした沢山の会社の方々とお話をさ

せていただきました。休憩時間には、歳の近い方と雑談をしたり、作業中では職人さんから声をかけていただき、自分の体験談についてのお話を聞くことができました。特に印象に残っているのは、26日に東京で起こったウレタンへの引火による事故で、自分たちの現場でもウレタンを使用していたため、危険性や危険予知などを体験談を交えて詳しく教えて下さいました。作業の時間を割いて私たちに声をかけてくれて、人生経験の多い方のお話を聞いたり将来について一緒に考えてくれるということとはとてもありがたく勉強になりました。

現場の方々が親身になって説明して下さいたり、話しかけて下さったことで、この五日間はとても充実していて楽しく仕事を体験することができました。この経験を今後活かしていきたいと思います。兼六建設の皆様、五日間ありがとうございました。

現場でのコミュニケーションの大切さが分かりました。

建築科2年 中村優斗
(受入企業 真柄建設(株))

実習を終えて、現場で働いている人がどのような仕事を行っているのかを知ることや、たくさんの経験をさせてもらうことができました。

毎朝行う朝礼では、職人さん達がどこで何の作業を何人で行うのかを把握して、その作業をするにあたっての熱中症対策や注意事項を確認してから作業をしていました。安全や体の事を第一優先で考え、現場で働いている人が病気や事故を起こさないように徹底していることが強く感じられました。

また、コンクリート打設作業では、斜めの部分をきれいに打設するために流動性の低いものを使っており、場所に応じて使い分けをする工夫がなされていることを知りました。スランプ試験は、授業でどのようなことをするのか教わっていましたが、間近で説明をしていただいたことで、スランプ値を見て決められた数値の範囲内なのかを調べていることや、コンクリート内の空気量を見ていることなど、何をしているのかが分かりやすく参考になりました。

現場では、コミュニケーションがとても大切で、朝礼後の会話や作業中の確認の会話をするることによって、作業の効率化や現場の空気が良くなっていると思いました。

現場の皆さんが親切に説明や接して下さったおかげで、緊張はしましたが楽しく実習ができました。この経験を生かしてどのような仕事をするのかなど考えていきたいと思います。

真柄建設の皆さん、五日間ありがとうございました。

人生の一步を踏み出す良い経験になりました。

土木科2年 里見颯斗
(受入企業 (株)明翫組)

今回の就業体験は、将来の私の人生を大きく左右するような体験となりました。初日の研修で、会社の方から協力会社の種類や施工管理の5つの意味を説明してもらいました。また、写真を見せてもらいながら、工事の過程、かかる費用の金額、工事が終わるまでの日数などを教えてもらいました。2日目はドローン操縦、水準測量、掛矢杭打ち、バリケード取立、土嚢製作、番線を体験しました。3日目は、2級河川犀川広域河川改修工事の現場で、レベルを使い測量しましたが、誤差がかなり出てしまい現場担当者に「気にしないで」と言われたけど、申し訳なかったです。その後、現場で使われているバックホウの説明をしていただきました。その中の1台にICTを備えたバックホウがあり、掘削するラインを設定すると、設定したところより下は掘れないようにする事ができるようになり凄いなと思いました。4日目は、ドローンの操縦、杭ナビ、マットの運搬をしました。この4日間学ぶ事が多く、大変な面もありましたが、私が歩いていく人生において大きな1歩踏み出す良い経験になりました。今回得た経験を糧にしこれからの進路選択に生かしたいと思います。

明翫組の皆さんありがとうございました。

作業現場の安全対策に感心しました。

建築科2年 南 広菜
(受入企業 (株)豊蔵組)

この五日間で私が一番驚いたのは、安全面についてです。毎朝朝礼で予知される危険とそれに対する予防策を発表するKY(危険予知)運動をし、更に夏の暑さによる熱中症の予防で塩飴やスポーツドリンクなどが置かれていました。また、現場内では段差がある所にはスプレーで「足もと注意」と記されており、足場の手すり周辺から出ている鉄骨にはゼブラシールなどが貼られていました。このような小さなことがすべて安全な作業につながっているのだとわかりました。さらに、コーンやポールに会社名のシールが貼ってあり、整理整頓の意識を高めていたので、それも安全につながっていると思いました。ここまで安全対策に力を入れていることに大変驚きました。

次に私が感じたことは、作業の効率化を図るための工夫です。それは、多くの会社の方々がある一つの現場に集まっているため、昼時間に毎日の作業の打ち合わせをしていたことです。そこでは職人さん同士でも話し合っており、現場での作業がうまくいくようにしていたのでそれも一つの工夫だと感じました。また、分からない事を放っておくと危険につながるため、職人さんと監督さんとの間で、どんなに小さなことでもその場で解決している場面も多く見かけました。そんな風に、身近なところから安全にも配慮していくことが、危険を避けてかつ作業をスムーズに進められているのだと思いました。だからこそ、こまめなコミュニケーションをとることが大切なのだとわかりました。

実習中に体験させていただいた作業の中でもシーリングをサッシと壁の間に打つ作業が一番難しく感じましたが、綺麗に打つことができると大きな達成感を感じることができました。簡単そうな作業でも実際に体験してみると、思うように上手くいかず隙間ができたりしました。ビス打ちでもまっすぐ少しずつ打ち込んでいかなければ位置がずれてうまく打ち込めなかったりして、長年培ってきた職人さんの技は素晴らしいと感じました。

印象に残っている体験はドローンによる撮影です。ドローンを使うことで人間が見えない視点から建物を見ることができ、作業全体の進み具合を確認することができます。現代の機械の発達現場に取り込まれていて、時代の変化を感じました。

私はこの実習で色々な体験をさせてもらえたことで、建築のことをさらに好きになりました。この五日間の体験が将来の夢への大きな一歩になったと思います。

豊蔵組の皆さんありがとうございました。

学校では学べない貴重な体験をさせていただきました。

土木科2年 鈴木歩叶
(受入企業 (株)北都組)

四日間のインターンシップを終えて、学校では学べないような貴重な体験をさせていただきました。

一日目と二日目は、テトラポットを据え付ける現場の見学をさせていただきました。

船で実際に据え付けを終えたテトラポットを見に行きました。高さが同じになるように据え付けるのが難しいことも教えて頂き勉強になりました。午後からは、その現場で、水準測量をしました。水準も現場ではたくさん使うのだなと改めて思いました。

二日目にトラバース測量とテストハンマーをやらせていただきました。トラバース測量も、求心器を使わない据え付けは学校ではあまり習わないのですごく勉強になりました。午後からは作り終えたテトラポットの強度調査をさせていただきました。初めて見る道具を実際に使って調査に参加できたことはすごく楽しかったです。

三日目は、レベルで測量をした後にあまり見たことのない重機を見ました。そのなかでもクローラークレーン・パイロハンマは、大きくて同じタイプの機械の中でも音が静かなものを使っていると聞きました。仕事をするときには、周りに対する騒音対策もしなければならぬとわかりました。

四日目は、珠洲のトンネルや、漁港を見に行きました。コンクリートできれいに作られており自分もこんな仕事をしたいとおもいました。

この四日間で、今まで知らなかった事やたくさんの貴重な体験をすることができました。

北都組の皆さんありがとうございました。

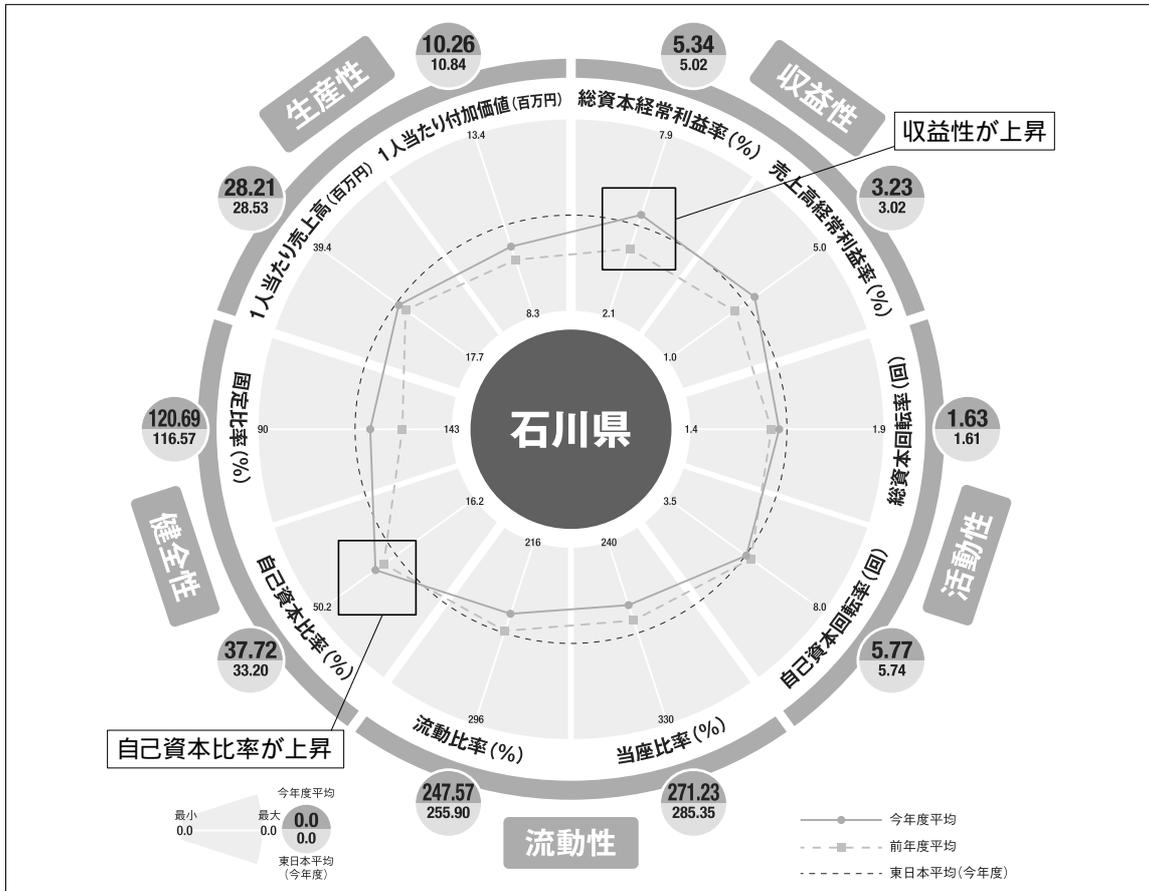
県内建設企業の財務内容の特徴

～ 『建設業の財務統計指標平成29年度決算分析』より～

東日本建設業保証(株) 石川支店

【平成29年度の特徴】

- ・企業の収益力を総合的に表す最も重要な比率である「総資本経常利益率」が5.34%と、前年度平均の4.26%や東日本平均の5.02%を上回っています。
- ・総資本に対する自己資本の割合を示し、企業資本の調達源泉の健全性、資本蓄積の度合いを表す「自己資本比率」は、前年度より1.79ポイント上昇し、37.72%となっています。



【自己資本比率の推移(北陸3県の比較)】



出典：東日本建設業保証『建設業の財務統計指標』 <http://www.ejcs.co.jp/report/indicators.html>

注『建設業の財務統計指標』は、東日本建設業保証へ提出された決算書により、売上高別、地区別・都県別に経営指標をまとめたものです。平成29年度の石川県内の集計企業数は667社です。

地区協会コーナー

かほく四季まつり・かに力ニ合戦

～住み良さランキング2018、全国17位のかほく市～

河北郡市土建協同組合

かほく市は、今年、旧宇ノ気町、七塚町及び高松町の三町が合併して15年目の大きな節目を迎えることとなりました。

また、かほく市は、今年も全国790の市と東京23区を対象とした「住み良さランキング」で17位にランクイン(ちなみに去年は4位)しました。その住みごこちの良さに近年注目が集まっていますが、かほく市では、次の10年、15年に向けて、更に飛躍をしていくため、「子供たちや若い世代が未来に希望を持てる、全ての市民が健康で生きがいを実感できる、互いに見守る温かいまち」「住んで良かったと真に感じられる、選んで頂けるまち」の実現に向けてこれまで以上に積極的な市政運営の取組が



推進されています。

その基本方針の四本柱の中でも、特に「新たな人の流れを生む魅力あふれるまちの創造」を一番の基軸と掲げ、かほく市の魅力を更に知って頂くためのシティプロモーションを展開しています。今では、かほく市のランドマークとなった「哲学の杜」のイベント等の利活用や、新たな特産物の開発支援など、定住促進並びに観光振興と併せた「とにかく人に温かいまち」の魅力発信について多角的に進めています。そこで、そんな魅力たっぷりのかほく市恒例の秋のグルメイベントとなっている「かほく四季まつり～かに力ニ合戦・海の幸・山の幸まつり～」に初めて行って参りました。秋晴れに恵まれた日曜日、秋の美味しい味覚を求めて開場前から行列が出来る人気です。会場内では、石川県民が待ち焦が



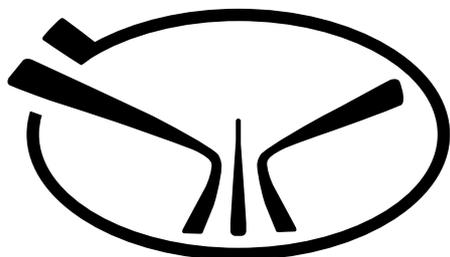
れた「漁解禁」となったばかりの石川ブランドのカニ、「加能ガニ」、「香箱ガニ」の直売はもちろん、「焼きガニ」、「カニ汁」、「カニ雑炊」コーナーなどカニグルメが堪能できる外、地元の農産物である上品な甘さの「紋平柿」、「ほくほくのさつま芋」、「かほっくり」、「砂丘長芋」、「まあそい大根」などなど、かほく市特産の秋の恵みが大集合していました。今まさに県内の各地域において秋の新嘗祭・収穫祭の真っ盛りですが、来年のカニ漁解禁時期には、一度かほく四季祭り・かに力ニ合戦にいらしてみたいはいかがでしょうか。



会員リレーコーナー

180 株式会社津幡工業

(所在地：河北郡津幡町清水ア9番地)



社章

寒さがひとしお身にしみるところとなりました。昨年度より石川県建設業協会に入会させて頂きました(株)津幡工業 代表取締役 村谷哲也です。協会に入ってまだ日は浅いですが協会員として県土木業界の発展と地域社会に貢献していく所存です。今後ともよろしくお願いたします。

当社は1966年(昭和41年)4月、私の父である村谷哲夫が河北郡津幡町字津幡に「津幡水道工事店」と称し創業し、水道・衛生空調工事の設計施工、請負業として発足しました。のちに1974年(昭和49年)11月、現在社屋のある河北郡津幡町字清水に新事務所、倉庫を移転し、1981年(昭和56年)に株式会社として一般土木を新たに加え、現在の社名である「津幡工業」として事業継承し現在に至っています。

私が当社に入社した2006年(平成18年)頃は、公共事業も少なく大変厳しい時代でしたが、土木、管、設備、リフォーム等の業態をこなせる会社で



社屋

あったため、官公庁の仕事が少ない中、営業努力により民間の仕事で補って来ました。2016年(平成28)12月に先代社長である父が他界し、私が二代目社長として就任しました。慣れない事もあり至らぬところも多く従業員には迷惑を掛けてばかりですが、社長になって本当に今までいろんな方々に支えられて今日の会社がある事に気付かされました。

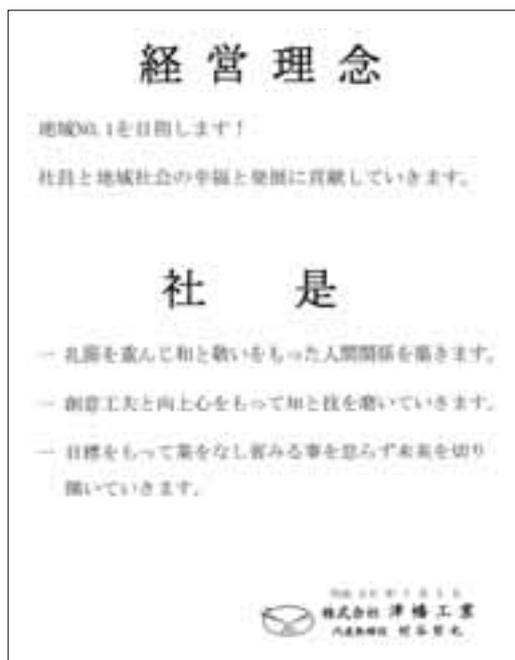
おかげさまで当社も今年で52周年を迎え、これからは地域に必要とされる企業を目指すため、社長になって初めて会社の経営理念と社是を作りました。おこがましいですが「地域NO.1を目指します!」をキャッチフレーズに、社員と地域社会の幸福と発展に貢献していくため、これからいろんな事にチャレンジして全社一丸となって事業を発展させていく所存です。

社章の由来ですが、創業時の社名から「津幡」の読み仮名の頭文字「つ」を外側に「水道」の「水」を中央に配したいたってシンプルなデザインとなっています。当社にはピンバッチがないのでみなさん着けておられるのでびっくりしました。今度、当社のピンバッチを作ってみようと思います。

当社の社風ですが、あまり上下関係に厳しくないこともあって和気あいあいとした雰囲気の中で、とてもまじめで責任感の強い社員が多く、お客様からお褒めの言葉を頂くこともあり頼もしい限りですが、やはり当社もご多分に漏れず中々新入社員を採用する機会に巡り会えない厳しい状況です。これからの少子高齢化やAI・IoT、目まぐるしく動く世界情勢の中、会社を存続させていくためにも働き方改革や生産性の向上に努め、業務改革と新規事業へチャレンジしていく事によって、若い人や女性にも魅力的な会社になっていけばおのずと道は開かれるのではないかと思う今日この頃です。皆様と一緒に、建設業界の夢と希望のある未来と発展の為に微力ではありますが頑張っていこうと思います。

次回は(株)松陽建設 代表取締役 齋藤秀明さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いたします。

(株式会社津幡工業 代表取締役 村谷哲也)



今月の「輝き！」さん

No. 45



株式会社丸中組 中市隆幸さん

業 種：専務取締役
 経験年数：6年
 年 齢：43歳

珠洲市上戸町の(株)丸中組に今月の輝きさんの中市隆幸さんをお訪ねし、いろいろお話をお伺いいたしました。

- あなたのご紹介と会社の概要について教えてください。
 丸中組は平成28年に創業60周年記念事業を行いました。現在の中市勝也社長は2代目です。会社の事業内容は、関連会社で管工事やガソリンスタンドの経営も行っていましたが土木中心の会社です。

私は出身が九州の宮崎市で今の会社に入ってから6年になります。大学は慶應義塾大学で土木とは全く関係のない法学部出身ですが、縁あって珠洲の住人となり、現在専務取締役として会社全般をみています。

- いま、会社ではどのようなお仕事をされていますか？
 土木の仕事に入る前は、以前の勤め先で建築内装の仕事を少しやっていたことがあり、そこでは原価管理をしっかりとやっていた。当時は土木の世界は、建築と違ってどんぶり勘定だと思っていたのですが、実際に現場単位でしっかり原価管理がされているのを見て驚きました。現在、工程管理や原価管理など経営全般をみていますが、工事現場ごとの原価管理をやって

おり、月ごとに進捗状況やコストの報告会を実施しています。

- 仕事でのご苦労、会社の課題は何ですか？

業界全体も若手の人材不足ですが、特に奥能登はここ十数年学生の新採は少ないのではないのでしょうか。うちの会社でも数年間で4人の補充をしましたが、すべて従業員の地縁血縁関係の中途採用です。2つ目が地域全体の人口減少が加速化しており、祭りなど地域全体の活力を支えてきた漁業も衰退してきています。そんな中、建設業も時代の流れの中でICTなど現場のイメージを変え若者を呼び戻すための新たな投資が必要と思いますが、設備投資のためには多額の資金が必要となるのが現状です。

- 将来に向けた思い、目標は？

これからは、IT技術者が現場の中心になってくると思います。今までとはイメージの違う現場にしていきたい。今年の4月から日本航空学園でドローンコースができたそうです。そんな技術者が現場の主任技術者になる時代が近いと思います。

会社の目標ですが、自然災害への対応や地域の行事（祭りや、芸術祭などの文化イベント）を支えられる「地域に必要とされる会社」であり続けたいと思っています。

- 最後にご趣味や休日の過ごし方など

中学、高校時代は合唱部にいました。今は、趣味といえば料理が好きです。得意な料理はカレー、ビーフシチューやブイヤベース（地中海の海鮮鍋）などの煮込み料理です。宮崎の母方の実家が割烹をしていて、その血筋でしょうか。

HELL OF FIVE
FIREMAN

けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

平成30年度市町要望活動の実施

県協会と地区協会合同の市長、町長要望を実施いたしました。10月31日に加賀地区、11月7日に河北地区、11月21日、22日には能登地区と延べ4日間にわたり加賀市から珠洲市まで、業界の実情を訴え直面する課題について要望いたしました。（次頁の日程表参照）

参加者は、県協会からは吉光会長、小倉副会長、江口副会長と山岸専務、各地区協会からは会長、副会長、理事の方々に、公共事業予算の持続的・安定的な確保、地元建設業者の受注機会の確保、改正品確法（運用指針）の適正な執行等6項目について要望いたしました。

要望に際して、市町の首長または副市町長、及び関係部課長に対応をしていただきました。

すべての市町からは、昨年の大雪時に住民の生活を守るために建設業界が尽力したことへのお礼の言葉をいただくとともに、今冬の対応について、引き続き協力をお願いがあり、協会として、地域は地域自らの手で守る「地域の守り手」としてしっかりと対応する旨お答えをさせていただきました。

要望内容については、どの市町長からも公共事業の推進が必要であるとの認識のもと、持続的・安定的な予算の確保、地元建設業者への発注、改正品確法の適正な執行に対してご理解をいただくことが出来ました。

また、前払金制度の積極的な活用として、前払金に上限が設定されている5町から上限撤廃に向けて検討を進めている旨の説明がありました。

今年は、新たに能登地域の一部では大型自動車免許の教習施設がなく、除雪オペレーターの育成に大きな負担となっている現状などをお伝えし、担い手確保に向けた支援拡充について協力要請をさせていただきました。

かほく市長はじめ多くの首長から、行政と建設業界が車の両輪となって公共事業の推進に向けた様々な取り組みを進めていこうとの力強い発言もいただき、「地域の守り手」として活躍を期待されていることを改めて認識するとともに、協会として、引き続き、いしかわのインフラの建設、維持の両面からしっかりと取り組みを進めていきたいと思っております。

要望実施に際しまして各地区協会の会長、専務の皆様方にはご協力ありがとうございました。



井出能美市長へ要望



油野かほく市長へ要望



石川穴水町長へ要望

平成30年度建設産業市町要望実施要領

1. 目的・背景
 - ・市町長への要望
2. 訪問先
 - 市町は市長（副市長）、町長（副町長）、土木担当課長
3. 参加予定者
 - 県協会 吉光会長、小倉副会長、江口副会長、山岸専務
 - 地区協会 会長、副会長、理事、専務

4 . 日程表

加賀地区 10月31日(水)

野々市市	09:30~10:00
白山市	10:30~11:00
能美市	11:20~11:50
川北町	13:10~13:40
小松市	14:40~15:10
加賀市	16:00~16:30

河北地区 11月7日(水)

かほく市	09:30~10:00
津幡町	10:30~11:00
内灘町	11:30~12:00

能登地区 11月21日(水)~22日(木)

21日(水)

宝達志水町	10:00~10:30
羽咋市	11:00~11:30
志賀町	13:10~13:40
中能登町	14:10~14:40
七尾市	15:00~15:30
輪島市	16:30~17:00

22日(木)

珠洲市	09:30~10:00
能登町	10:40~11:10
穴水町	13:10~13:40

女性技術者のつどいの開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、(一社)金沢建設業協会(会長 橋本和雄)の共催を得て、11月17日(土)午後3時から、金沢ニューグランドホテルプレミアにおいて、女性が働きやすい職場環境の実現を目指して「女性技術者のつどい」を開催した。

つどいには、お招きした(一社)新潟県建設業協会女性部会の斎藤奈々子副部会長ら3名をはじめ、会員企業で働く女性技術者及び協会関係者を含めた47名が参加した。

冒頭、(一社)石川県建設業協会の山岸 勇専務理事は、本年7月に実施した会員企業に対する雇用実態調査で女性技術者の採用比率が高かったことを紹介するとともに、若手女性技術者の離職防止と産休・育休からの復職対策など女性が働きやすい職場環境づくりに努めていく旨挨拶した。

続いて(一社)金沢建設業協会の中川富喜専務理事が、同協会の女性活躍への取り組みについて説明した。

(一社)新潟県建設業協会女性部会からは、同部会が実施している定期的な交流会や学校への出前講座、専門学校生との協力によるオリジナル作業服の制作など女性部会の活動例について紹介をいただいた。

懇談会は、ケーキとお茶を楽しみながら和やかな雰囲気の中で行われ、参加した女性技術者からは、「産休後など復帰しやすい環境を作ってほしい」、「仕事の内容で無用な差別はしないほしい」など、活発な意見交換が行われた。

協会では、今後もこのような取り組みを継続的に開催し、もっと女性が活躍できる建設業界の実現を目指すこととしている。



委員会の開催

土木委員会

工事現地検討会の実施

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る11月6日(火)に南加賀地区、白山野々市地区、県央地区、中能登地区、11月8日(木)に奥能登地区で、県土木部所管工事を対象とした工事現地検討会を実施した。この現地検討会は当委員会の主要活動の一つで、工事施工中の現場を点検し、工事現場での設

計上の課題や疑問点などについて、工事発注者である土木事務所の担当官、工事設計を担当した設計コンサルタントの技術者、工事施工者、地区協会員、土木委員会委員が一堂に会して意見交換会を行い、より良い社会資本整備を目指すことを目的に行っている。



工事点検パトロール状況



意見交換会状況

今年度は、9月28日(金)開催の安全対策部会正副部会長会議、10月9日

(火)開催の工事現地検討会班長会議で点検実施内容を計画し、関係機関との調整等により、県内5土木総合事務所管内で11件の工事を選定し、104名の参加により、各現場での工事点検、意見交換会を実施した。

工事現地検討会の実施にあたっては、石川県各土木総合事務所、(一社)石川県建設コンサルタント協会、(一社)石川県測量設計業協会、工事担当の各社、各地区建設業協会の皆さんには大変なご協力を頂いた。また、各地区での調整や運営を担って頂いた各班長さんに改めてお礼申し上げます。

石川県土木部との意見交換会の開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、11月29日(木)にANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、石川県土木部所管の建設事業について「石川県土木部との意見交換会」を開催した。意見交換会には、石川県より技監の竹俣隆一氏、土木部監理課技術管理室長の宮田政佳氏、同課参事の納橋豊暢氏、企画調整室専門員の亀崎信弘氏の4名の方々に出席を頂き、県協会からは鶴山副会長、土木委員会からは竹腰委員長をはじめとする45名の委員と事務局2名が出席した。

冒頭に竹腰委員長からの挨拶の後、石川県技監の竹俣隆一氏より「石川県土木部における最近の動向について」と題し、9月補正予算について、県民生活の安全・安心の更なる確保、最近の話題(12月補正予算、金沢港機能強化、金沢城公園、ICTの推進、担い手確保・育成、除雪など)についてご講演を頂いた。

意見交換会では、土木委員会より 入札・契約関係(2議題)、総合評価関係(1議題)、設計・積算関係(3議題)、施工関係(1議題)、監督・検査関係(1議題)、担い手3法の運用関係(1議題)、その他要望意見(2議題)の11議題について、当土木委員会の副部会長及び懇話会座長から要望や提案事項の趣旨説明の後、県土木部からの回答を受け、その後各委員と発注者の双方による活発な意見交換が行われ、閉会した。



建築委員会

環境・住宅部会研修会の開催

環境・住宅部会(部会長 水内健之)は、11月8日(木)に小松市の「(仮)九谷焼創作工房と金沢城鼠多門部材木造り工場」の視察研修を部会員4名と建築委員16名の計20名の参加で開催しました。

午前中に訪れた「(仮)九谷焼創作工房」の現場では(株)トーケンの伊野博俊専務より工事概要の説明を受けたのち、現場見学を行った。

同工房は世界的建築家の隈 研吾氏による設計であり、九谷焼粘土を作る工場のほか、若手作家のための工房、観光客の陶芸体験コーナー、展示販売施設等が設置され、また、製土の様子が見学できるような工場はガラス張りにしたり、花坂の採掘現場を彷彿させ周辺の田園風景に溶け込ませるために大地につながるおおらかな木造平屋の大屋根で形成されていることが説明された。様々な勾配を持つ複雑な屋根を施工するため、3Dを駆使して部材の接手や仕口を作成した苦労話や屋根面緑化にグリーンピズの使用、壁下地に炭素繊維を小舞代わりに組み込んでいるなどの説明も受けた。

午後から訪れた松浦建設(株)の大長野工場では社長の松浦 弥氏より金沢城鼠多門の復元工事について説明を受けた。



伝統工法における金沢城公園の橋爪門、河北門復元に携わってこられた話や最近の復元工事においてはその時代における最新の技術で復元を行っており、唐招提寺や東大寺においても明治時代にトラス構造が採用されていること、今回の鼠多門でも梁材の中にT字型の極厚な鉄骨材で補強がなされていることなどの説明を受けたのち工場見学を行った。巨大な部材を取り扱う伝統工法ではまず原寸図を作成の上、問題点がないか確認し、CADで施工図を作成していること、日本に2台しかないプレカット機械を一部利用していること、巨大な2尺角のケヤキ材鉄骨部材を埋め込むために惜しげもなく穴を掘り進めるところなど町家の住宅工事しか見ていない者にとっては驚異の連続でした。

世界をまたにかけ建築家の設計の考え方や日本古来の伝統工法に携わる宮大工の神髓に触れられることができた有意義な視察研修会となった。

加賀地区安全パトロールの開催

安全部会（部会長 連 友也）は、11月15日（木）に、小松特別支援学校管理棟増築工事・大規模改修工事（建築）工事現場にて、県営繕課及び工事関係者3名、建災防石川支部指導員1名、安全部会員5名と（一社）加賀建設業協会・（一社）小松能美建設業協会・（一社）白山野々市建設業協会の地区協会員17名の計26名の参加にて現場安全パトロールを行った。

連部会長の挨拶後、研修会で建災防石川支部の指導員森國健次氏より「墜落制止用器具の使用について」の説明を聞き、県内の労働災害状況、来年の2月1日より2m以上の作業床がない箇所や高さが6.75mを超える場合は墜落制止用器具（フルハーネス型）を使用しなければならないなどの安全対策の必要性を確認した。

引き続き県営繕課専門員田中陽一氏の工事概要説明を受け、施工業者の加賀工建（株）の現場代理人中村正人氏及び（株）竹中建設の現場代理人加藤龍虎氏の案内により参加者全員で現場安全パトロールを行った。

現場は増築工事（RC-2）の部分は基礎の打設が終了し、埋戻しが完了している状況、大規模改修部分は1階部分の改修が終了し引き渡し済みであり、2階部分をこれから改修する状況であった。非常に狭隘な敷地であり2社同時の入場もあり荷降ろし等も綿密に工程をすり合わせて作業していること、改修工事の外壁修繕で既存吹付材にアスベストが含有されており労働局や保健所への届け出や足場材の1本1本まで養生して施工したなどの苦労話も聞かれた。

パトロール後、森國指導員の講評を受け、大変有意義な現場安全パトロールとなり好評のなかで終了した。最後に、和泉副部会長の挨拶で解散となった。



土地改良委員会

北陸農政局及び県農林水産部等への施策提案

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）の正副委員長は、11月14日（水）に奥田 透農林水産省北陸農政局長、及び27日（火）午前に遠藤知庸石川県農林水産部長へ「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し、近年の記録的豪雨などによる災害が本県を含め全国で多発しているなか、国が平成31年度新規地区として8月末に概算要求で示した国営総合農地防災事業「河北潟周辺地区」について、安全・安心の観点から、来年度の事業展開に必要な予算編成を求めるとともに、それ以外の地域についても持続的かつ安定的な公共事業の予算確保などを要望しました。

最初に、真柄委員長の挨拶から始まり、引き続き、事務局より要望内容が説明された。

要望事項としては、

1. 農業農村整備事業予算の持続的かつ安定的確保

国営総合農地防災事業「河北潟周辺地区」及び県営事業等を含めた農業農村整備事業の着実な推進に向けて予算が持続的かつ安定的に確保されること。

2. 受注機会の確保

農業農村整備に長年にわたり施工実績を蓄積するなど「地域のインフラ整備の担い手」の役割を担



北陸農政局長への提案



県農林水産部長への提案

っていることから「災害時の地域貢献」に加え「若手技術者の確保・育成などの取り組み等」を評価し、実績に相応した受注機会を確保されること。

3. 改正品確法運用指針の徹底と労働環境改善の推進

適正な利益を確保できるよう改正品確法運用指針の徹底と、休日等の労働環境改善を推進されること。

の3点について要望を行った。



県中能登農林総合事務所長への提案

奥田農政局長からは、「改正品確法と労働環境改善についてしっかりとやって行く。現場で起こっていることを教えて欲しい。また、予算についてはかなり回復したが、さらに当初予算の確保に努める。国土強靱化を前面に出して災害やため池整備を行う。農地整備もやって行く。」、「ほ場整備工事での施工データ等の農業者との連携など色々な取り組みを一体的に行っていく必要があると考える。」などのコメントを頂いた。

また、遠藤県農林水産部長からは、「ほ場整備やため池等の防災等に加え国営の県負担など莫大な額になるが予算を確保していく。発注についても補正を活用するなどし、平準化を図り切れ目無い発注としたい。」、「国の今年度予算は前年比108%。当県は118%で、予算的に追い風にあるが、来年度に向けさらに当初予算の確保に努める。」、「農村地域の担い手として期待している。」など力強いコメントを頂いた。

その後、11月27日(火)午後11時30分に北陸農政局手取川流域農業水利事業所、西北陸土地改良調査管理事務所、28日(水)に県奥能登農林総合事務所、中能登農林総合事務所に対しても要望活動を実施し、各事務所における提案内容の取り組み状況について意見交換を行った。

広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会(部会長 高田直人)は、11月22日(木)午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭、高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議・報告を行った。

- 1 協会報12月号、新年号について
事務局説明の編集計画が承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
 - ・経営者・管理者のためのICT講習会の開催結果
 - ・登録解体工事講習会(金沢)の開催結果
 について報告された。



「建設業経営講習会」の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、11月26日(月)、石川県建設総合センター7階大ホールにおいて、東日本建設業保証(株)、土木施工管理技士会との共催で建設業経営講習会を開催した。

講習会には、若手現場技術者等73名が参加した。冒頭、高田委員長、安藤東日本保証(株)石川支店長の挨拶の後、(株)建設経営サービスの黒図茂雄氏から『「若手技術者のための原価管理基礎セミナー」～利益を確保するために何をすべきか～』について講演をいただいた。

講習では実行予算の作成方法や、日常の原価管理の基である日報の取り扱いをはじめ、原価管理手法の取得など建設現場で即適用できる貴重なお話を聞くことが出来た。

終了後のアンケートでは、ほとんどの参加者から「大変参考になった。」「聞きやすく分かりやすい講習でした。」などと高評価をいただき大変有意義な講習会となった。



広報・研修委員会高田委員長の挨拶



黒図茂雄氏の講習

ドローン講習会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、ドローン講習会を7月～11月までの計5回開催した。今年度より実施した当講習会は建設業界でも活用が広がっているドローンの基礎知識から飛行訓練に至る内容となっている。

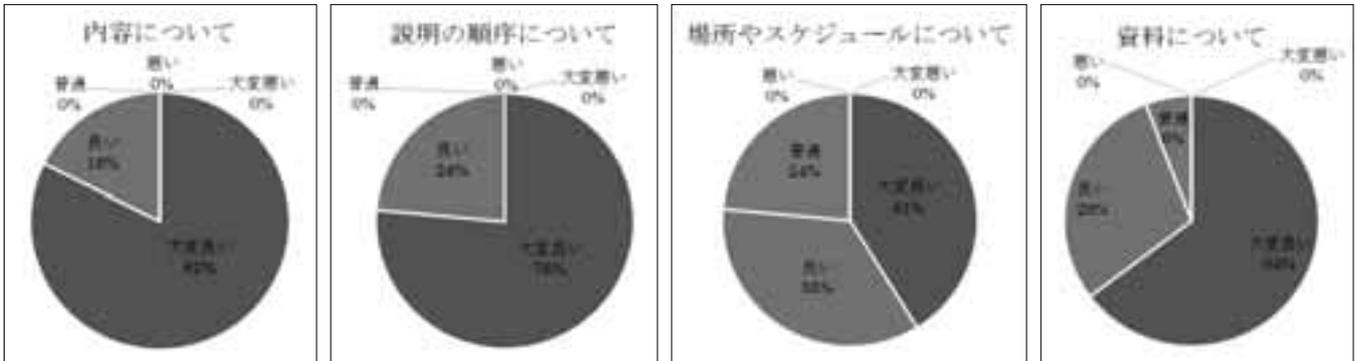
座学ではドローンに関する法令や安全運航に関する注意点、国土交通省に申請する内容等について学んで頂き、飛行訓練では国土交通省航空局「無人航空機飛行マニュアル」に記載の基本的な操作技量に基づいた内容で操作訓練を行った。

なお、来年度は3月から11月の期間で開催を予定している。（詳細は事務局室山まで）

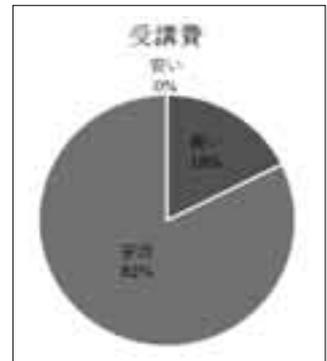
日付	参加者数
7/20.21	3
8/31.9/1	4
9/28.29	3
10/19.20	4
11/16.17	3
合計	17



アンケート結果

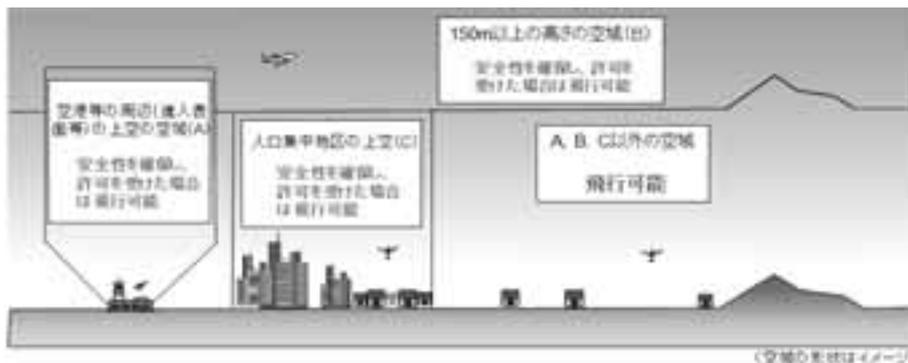


- ・大変親切に教えていただき、またわかりやすい講習であったと思います。
- ・もう少し実技の時間を長くしてほしい。
- ・貴重な体験ができた。
- ・休日ではなく、平日に行ってほしい。
- ・実施場所が遠方であった。
- ・少人数でドローン操作の実施時間が長かったため、操作方法の習得に大変役立った。
- ・少人数で講習が行われていたので、実際に操作が多く出来たので、大変楽しく学べました。
- ・地区で飛ばすことのできない箇所等が理解できて良かった。
- ・人の家のトイレは使いにくい。
- ・ドローンの説明も解りやすく大変勉強になった。
- ・大変わかりやすい説明とスタッフさんの対応が良かった。
- ・最初は不安ではありましたが、講師の方々に丁寧に教えていただき大変良い講習だったと思います。



参考資料

無人航空機の飛行の許可が必要となる空域



国土交通省 HP より引用
国土交通省 ドローン情報基盤システム
DIPS <https://www.dips.mlit.go.jp/portal/>

建設青年委員会

講演会の開催

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、11月9日（金）午後4時からホテル金沢にて、講演会を開催した。

当講演会は今年2月に開催予定でしたが、大雪の為延期され、今回の開催となった。

講師には立命館大学工学部教授 建山和由氏をお迎えし、「動き出したi-Construction ～現状と将来展望～」の演題で、i-Constructionの導入目的や必要性、また最近の取り組みについて事例を交えながらご講演を頂いた。

当日は金沢河川国道事務所・石川県・金沢市からも多数のご参加を頂き、委員と合わせ90名が聴講し、盛況のうち終了した。



建設技術研修所

「登録解体工事講習会 能登会場」の開催

「登録解体工事講習会 能登会場」を11月13日（火）午前10時から、奥能登総合事務所4階41会議室において開催した。

平成28年6月1日に改正建設業法が施行され、建設業許可の業種区分として「解体工事業」が新設され、平成28年5月31日以前は「とび・土木工事業」の許可で「解体工事」を施工していたものが、今後は原則「解体工事業」の許可を取得した企業が「解体工事」を施工することとなる。上記改正に伴い、「解体工事」に係る営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者の資格要件が建設業法施行規則等で定められた。解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となるためには、「登録解体工事講習」の受講又は解体工事に係る実務経験が必要となることから、一般財団法人全国建設研修センターの協賛で実施している。講習会は、先月の金沢会場に続き今年度2回目の開催となり、能登会場では89名が講習を受講した。終了後、受講者全員に修了証が交付された。

石川県土木施工管理技士会だより

現場研修会の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、技士会会員の技術力向上を目的に、11月15日（木）に金沢港岸壁再整備事業と金沢東部環状道路事業に関する理解を深めてもらうため、現場研修会を役員及び技士会会員の総勢24名（事務局1名含む）の参加により行った。

金沢港の現場では、老朽化が顕著となっている岸壁の老朽化対策と、液状化対策として海上部と陸上部で地盤改良（機械攪拌・高圧噴射）による耐震強化岸壁工事が行われており、その施工技術を研修した。次の研修場所である金沢東部環状道路では、今年度は金沢森本IC～神谷内間の4車線供用に向けての月浦トンネル工事が進められていた。この現場では、機械掘削によるトンネル掘削（Ⅱ期線）が行われていたが、地山が脆弱なため補助工法などの補強工法が実施されていた。また、既設トンネル（Ⅰ期線）との離隔間隔が短いため、事前調査や影響予測、対策工、安全監視などが行われ、施工管理においてもCIMが活用されるなど、全体を通して最新の土木技術を学ぶことができた。この研修会はCPDS（継続教育制度）の認定研修会でもあり、参加者にはCPDS3ユニットが付与されるなど、非常に有意義な現場研修会となった。

今回の現場研修会で、事業説明や現場説明をいただいた金沢港湾・空港整備事務所の関口副所長、坂上保全課長、金沢河川国道事務所の二川建設監督官、各視察現場の関係者にご協力をいただきお礼申し上げます。



耐震強化岸壁工事現場研修状況



月浦トンネル工事現場研修状況

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年10月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	6	(14)34	20	(14)60	(9)59	591
小松監督署	12	(6)11		(6)23	(5)18	225
七尾監督署	3	(5)7	8	(5)18	(4)18	99
穴水監督署	2	(7)9		(7)11	(5)13	51
計	23	(32)61	28	(32)112	(23)108	966
前年同期	22	(23)61	25	(23)108	(23)108	856

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
8月分	429	397	108.1%	1,850	2,860	64.7%	2,279	3,257	70.0%
9月分	232	369	62.9%	3,316	3,213	103.2%	3,548	3,582	99.1%
10月分	232	193	120.2%	2,398	2,183	109.8%	2,630	2,376	110.7%
年度累計	2,048	3,145	65.1%	17,400	20,735	83.9%	19,448	23,880	81.4%
28年度累計		3,174	64.5%		13,696	127.0%		16,870	115.3%
27年度累計		2,146	95.4%		19,545	89.0%		21,691	89.7%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
8月分	3,699	3,484	106.2%	1,299	1,481	87.7%	4,998	4,965	100.7%
9月分	5,066	5,259	96.3%	2,871	999	287.4%	7,937	6,258	126.8%
10月分	5,205	4,857	107.2%	780	2,039	38.3%	5,985	6,896	86.8%
年度累計	26,290	23,421	112.2%	7,946	8,424	94.3%	34,236	31,845	107.5%
28年度累計		31,731	82.9%		10,163	78.2%		41,894	81.7%
27年度累計		26,925	97.6%		10,993	72.3%		37,918	90.3%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
8月分	7,277	8,222	88.5%
9月分	11,485	9,840	116.7%
10月分	8,615	9,272	92.9%

	30年度	29年度	%
年度累計	53,684	55,725	96.3%
28年度累計		58,764	91.4%
27年度累計		59,609	90.1%

会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
永原建設(株)	山本加奈子	永原 松一	平成30年5月1日
日成ビルド工業(株)	森岡 篤弘	森岡 直樹	平成30年10月1日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年12月行事予定

- 12月 3日(月) 正副会長会議
土地改良委員会 施策提案 (南加賀農林)
- 4日(火) 品質管理監査会議〔生コン工組〕
(KKRホテル金沢)
全国建設青年会議第23回全国大会
(東京 経団連会館)
- 6日(木) 土地改良委員会 施策提案
(石川農林、県央農林)
北陸建設青年会議と北陸地方整備局長との意見
交換会 (新潟県建設業協会)
- 7日(金) 羽咋工業高校 意見交換 (羽咋工業高校)
土木委員会 工事現地検討会班長会議(後期)
(KKRホテル金沢)
土地改良委員会 意見交換会 (金沢市内)
- 10日(月) 金沢大学における講義(担い手確保・育成)
(金沢大学)
- 11日(火) 富士教育訓練センター派遣事業打合せ会議
全国建産連 専門工事業全国会議
(建設業振興基金)
全建 地域懇談会等における諸問題の意見交換会
(東京 経団連会館)
- 12日(水) 石川県土木施工管理技士会 役員会(金沢市内)
- 13日(木) 金沢市立工業高校(土木)インターンシップ報
告会 (金沢市立工業高校)
金沢市立工業高校(土木)意見交換会
(金沢市立工業高校)
北陸ICT戦略研究会 (新潟国道事務所)
- 14日(金) 全国技士会連合会事務局長及び実務担当者合同
会議 (東京 アルカディア市ヶ谷)
金沢市立工業高校(建築)インターンシップ報
告会 (金沢市立工業高校)
- 15日(土) 情報共有システム講習会
- 17日(月) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(石
川県部会) (金沢河川国道事務所)
- 18日(火) 小松工業高校 意見交換会 (小松工業高校)
会報編集委員会
土木委員会役員会

- 19日(水) 理事会・知事懇談会
(金沢ニューグランドホテル)
- 20日(木) 石川県への要望〔青年海外協力隊を支援する会〕
(石川県庁)
石川県共同募金会 分配委員会
(石川県庁福祉会館)
- 21日(金) 金沢市への要望〔青年海外協力隊を支援する会〕
(金沢市役所)
専門防災エキスパート会議
(金沢河川国道事務所)
建築委員会 金沢地区安全パトロール
- 27日(木) 事務局打合せ
- 28日(金) 仕事納め

平成31年1月以降の行事予定

- 1月 4日(金) 経済3団体新年互礼会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 11日(金) 正副会長会議
建災防安全祈願祭・新年会 (尾山神社)
- 15日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会
(ホテル日航金沢)
- 18日(金) 全国建産連 理事会・協議員会
- 21日(月) 広報・研修委員会 全体会議(ホテル日航金沢)
70周年記念講演会・新年祝賀会
(ホテル日航金沢)
- 25日(金) 土木委員会新年会 (粟津温泉のとや)
- 26日(土) JIA 北陸支部30周年記念式典・懇親会
(金沢21世紀美術館)
- 29日(火) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(富山河川国道事務所)
土地改良委員会技術検討部会
- 2月 1日(金) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 4日(月) 正副会長会議
常任理事会
- 6日(水) 石川中金会懇談会・新春講演会等
(ホテル日航金沢)
- 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会

- 2月 9日(土) 高校生富士教育訓練センター派遣事業(～16日)
 20日(水) 土地改良委員会技術検討部会 農林水産部との
 意見交換会 (金沢ニューグランドホテル)
 建築委員会 研修会(～24日)
 26日(火) 税財務講習会
 3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会
 (新潟 東映ホテル)
- 3月 4日(月) 正副会長会議
 全国建産連 総務委員会
 6日(水) 全国建産連 専門工事業委員会
 土木委員会研修会(～10日)
 7日(木) 産業廃棄物講習
 20日(水) 土地改良委員会 全体会議
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
 協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 12月 5日(水) テレビ講座
 6日(木) 青年：情報発信セクション
 7日(金) 建築：建築工事現場安全パトロール
 建築：年末懇親会
 11日(火) 青年：幹事会
 12日(水) 記念事業推進検討部会
 13日(木) 青年：市工測量コンテスト表彰式
 青年：市工意見交換会土木科
 14日(金) 青年：市工就業体験学習発表
 協・組合同役員年末懇親会
 21日(金) 消費税増税及び軽減税率制度の説明会
 建築：金沢地区安全パトロール

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 12月12日(水) 防災加賀分会 役員講習会
 14日(金) 役員会
 18日(火) 小松工業高校生との意見交換会

《お知らせ》

1月23日(水) 新年互礼会 開催

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 12月 3日(月) 理事会
 4日(火) 丸内中学校キャリア教育
 5日(水) 合同安全パトロール
 12日(水) 建築委員会親睦ゴルフ&忘年会
 18日(火) 石川県立小松工業高等学校生徒との意見交換会

《お知らせ》

1月11日(金) 新年会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(火) 監理技術者講習会
 12日(水) 役員会

《お知らせ》

1月15日(火) 新年互礼会

河北都市土建協同組合

《行事予定》

- 12月 5日(水) 第3回監理技術者講習会
 28日(金) 仕事納め

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

- 12月 7日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会
 12日(水) 羽咋工業高校生インターンシップ16名(6企業)
 (～14日)

《お知らせ》

1月25日(金) 協会・資材組合合同新年会
 3月 5日(火) 監理技術者講習会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 12月 5日(水) 監理技術者講習会
 7日(金) 土木委員会(講演会)
 中旬 建築委員会定例会

《お知らせ》

2月 6日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 12月 6日(木) 正副会長会議、理事会

《お知らせ》

1月16日(水) 監理技術者講習会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 12月 5日(水) 理事会
 7日(金) 建設現場安全パトロール